



持続可能な 社会のために

地域・社会とのかかわり

地域の信頼

- 57 安全と安心
- 59 地域の皆さまとのふれあい
- 62 地域環境保全活動

社会との連携・協働

- 63 エネルギー・環境教育
- 65 ボランティア

誠実と誇りを原点とした企業活動

- 67 人権尊重・差別禁止
- 68 コミュニケーション

従業員とのかかわり

自己研鑽、知恵と技術のさきがけ

- 71 従業員支援制度
提案制度

豊かな個性と情熱、明日への挑戦

- 72 多様な人材の活用
人材育成
- 74 従業員と家族の心と体の健康づくり
快適職場づくりの推進

荘川桜(岐阜県)
1959年、御母衣ダム建設にあたり、移植された桜(P.62もご覧ください)

私たちの行う社会的取り組みは
J-POWERグループ企業理念と深くかかわっています。

本編は、企業理念に謳われている
地域の信頼
社会との連携・協働
誠実と誇りを原点とした企業活動
自己研鑽、知恵と技術のさきがけ
豊かな個性と情熱、明日への挑戦
の5項目について、
その位置付けと具体的取り組み事例を報告します。

地域の信頼

J-POWERグループは、国内外を問わず地域社会の信頼を得て企業活動を継続して行くために、安全・安心を大前提に、現地法令の遵守、文化・慣習の尊重、国際的な規範に準拠した企業活動の実施、設備の地元へのPRや開放などを行うとともに、従業員による地域社会への貢献活動にも取り組んでいきます。

安全と安心

J-POWERグループは、今日まで半世紀にわたり卸電気事業者として発電事業に携わり、安定した電力を供給してきました。

その電力安定供給を確実にを行うには、私たちが保有する設備が地域の皆さまにとっても「安全で安心できる設備であり続けること」が大前提と考えています。



阿蘇にしはらウィンドファーム(熊本県)点検作業



松島火力線(長崎県)がい子点検



熊野幹線(奈良県)電線点検

設備保全

J-POWERグループは、発電、送電、変電、通信、土木建築などのさまざまな分野の設備を保有しており、電力の安定供給を行うためには、これらの設備の機能を維持し、故障事故を未然に防ぎ、環境負荷を小さくするための質の高い設備保全業務が重要です。

私たちは、設備保全業務の向上をめざし、これまでの各分野の業務で培った設備保全技術について、現場経験、各種研修を通して維持と向上を図ります。また、機器の状態を適確に把握し、CMMS[®]などのIT技術も活用することで、確実な業務の実施を行います。

さらに、これらの業務実施および機器の遠隔監視などにより、蓄積される設備保全データの共有・活用を基礎として、最適な設備保全計画策定、確実な保全業務の実施、保全業務の内容や設備の状況に関するチェックにより業務の規定、マニュアルの見直しを含めた業務の改善を行うことで、設備保全業務の継続的な改善を行います。

緊急時の対応

J-POWERグループは、災害や事故が発生した場合に備え、必要な準備や体制づくり、定期的な訓練を行っています。

防災体制

地震、台風、雪害などの自然災害により設備に大規模な被害が生じた場合は、非常災害対策本部を本店および各機関に設置し、グループ一丸となって緊急対応、被害の拡大防止、早期復旧に迅速に取り組む体制づくりをしています。

防災訓練

各発電所では、年に数回さまざまな事故や災害を想定した訓練を行い、緊急時に適切に行動できるよう日頃から取り組んでいます。また、本店と現地機関が連携して行う総合防災訓練では、2004年度からシミュレーション型の訓練を取り入れ、2005年度は12月に実施しました。



総合防災訓練風景

発電所配管点検

2004年8月に発生した原子力発電所配管壊破事故に鑑み、2004年9月以降、J-POWER全火力発電所(鬼首含む)において、事故部位であったオリフィス下流部をはじめとする類似個所の配管点検を実施しています。電気事業法に基づく5,793カ所の点検を発電所の定期点検に併せて順次実施しており、2006年6月に検

査を終了しました

これまで確認された必要肉厚を下回った箇所(12カ所)については、すべて配管を取り替えて健全性を確保しています。

今後は、これまでの検査結果等をもとに適切な配管管理を実施し、安全運転に万全を期してまいります。

地域の皆さまとのふれあい

伝統芸能行事への参加

地域の歴史・文化の尊重および保護の担い手として、その地域に居住し、あるいは企業活動している従業員は伝統芸能行事に参加しています。

伝統芸能行事への参加

組 織	開催地	内 容
J-POWER北本連系電力所 / J-POWER北地域制御所 / J-POWER北海道送電管理所 / J-POWER北海道情報通信所 / JPハイテック北本連系事業所 / JPハイテック函館事業所 / 開発電子技術函館営業所	北海道	峠下稲荷神社祭り
J-POWER大間幹線建設所	青森県	田名部神社例祭
J-POWER東和電力所 / JPハイテック東和事業所	岩手県	花巻まつり
J-POWER北山川電力所 / JPハイテック北山川事業所	奈良県	棚田維持
JPビジネスサービス	東京都	深川八幡祭り
J-POWER磯子火力発電所 / ジェイベック磯子カンパニー / 開発肥料	神奈川県	神奈川大和阿波おどり
J-POWER高砂火力発電所	兵庫県	戎神社川祭り / 第9回高砂観月能 / 曾根天満宮秋季例大祭
J-POWER橘湾火力発電所 / ジェイベック橘湾カンパニー / 開発電子技術橘湾営業所 / JPビジネスサービス橘湾事業所	徳島県	阿波踊り(阿南の夏まつり)
J-POWER西地域制御所 / J-POWER四国情報通信所 / JPハイテック西条事業所 / JPハイテック四国事業所 / 開発電子技術西条営業所	愛媛県	西条祭り
J-POWER松島火力発電所	長崎県	長崎ペーロン選手権大会参加
J-POWER若松総合事業所	福岡県	脇田祇園



JPビジネスサービス



J-POWER北本連系電力所 他



J-POWER大間幹線建設所



J-POWER西地域制御所 他



J-POWER松島火力発電所

交流活動

施設開放

全国にある発電所や研究所などの施設を皆さまにご覧いただくために、各地で開放デーを開催しています。

施設開放を行った組織

広島県

J-POWER竹原火力発電所
J-POWERグループ



ふれ愛アップ竹原 1日開放デー

長崎県

J-POWER松浦火力発電所
ジェイベック松浦カンパニー
JPビジネスサービス松浦事業所
開発電子技術松浦営業所
J-POWER松島火力発電所



J-POWER
輪ンダブルホリデー@まつら2005

沖縄県

J-POWER石川石炭火力発電所
ジェイベック石川カンパニー
JPビジネスサービス石川事業所
開発電子技術沖縄営業所

宮城県

J-POWER鬼首地熱発電所
ジェイベック鬼首事業所

新潟県

J-POWER小出電力所
JPハイテック小出事業所 他

兵庫県

J-POWER高砂火力発電所
ジェイベック高砂カンパニー
JPビジネスサービス高砂事業所
開発電子技術高砂事業所

徳島県

J-POWER橋湾火力発電所

福岡県

J-POWER若松総合事業所
若松J-POWERグループ



火力シミュレータ見学会

福島県

J-POWER下郷電力所
J-POWERハイテック下郷事業所 他

埼玉県

J-POWER東日本支店
J-POWER川越電力所
J-POWER東日本送電管理所
J-POWER関東情報通信所
JPハイテック東日本カンパニー
JPハイテック川越事業所

東京都

J-POWER本店



1階ロビー
津軽三味線コンサート・写真展

神奈川県

J-POWER磯子火力発電所
J-POWER磯子火力新2号機建設所
ジェイベック磯子カンパニー
JPビジネスサービス磯子事業所
開発電子技術磯子営業所
開発肥料

J-POWER高砂火力発電所(兵庫県)の取り組み

ホームページ(<http://www.bansyuu.com>)

J-POWER CUP サッカー大会

2001年度から毎年開催しています。2005年度は11月12日に開催。少年サッカー8チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。



J-POWERシネマ会

春と秋の年2回、高砂市内の老人クラブを無料でお招きし、映画鑑賞と発電所見学を楽しんでいただいています。2005年度は、約160名が参加しました。



J-POWERふれあいコンサート

全国の事業地域の皆さまに対し、日頃のご理解、ご協力への感謝の意を示す活動として、1992年より全国93カ所でクラシック音楽のコンサートを開催しています。

また、社会貢献活動の一環として、全国70カ所の福祉施設・学校等を訪問し、「J-POWERふれあいミニコンサート」を開催しています。



J-POWER若松総合事業所(福岡県)



J-POWER東和電力所 / JPハイテック東和事業所(岩手県)

地域行事

地域に根をおろし、地域社会の発展に貢献する「良き企業市民」としての役割を果たしたいと考え、事業地域のイベントなどに参加し、主催者の団体として開催をサポートするなどの協力をしています。



J-POWER石川石炭火力発電所(沖縄県)
前兼久ハーリー大会



J-POWER小出電力所 /
JPハイテック小出事業所 他
(新潟県)
うおぬま ふれあい夏の雪まつり



J-POWER橘湾火力発電所(徳島県)
あなんマリンフェスティバル 砂像コンテスト



J-POWER北本連系電力所 他(北海道)
花いっぱい運動



J-POWER礪子火力発電所 / ジェイベック礪子カンパニー /
JPビジネスサービス礪子事業所(神奈川県)
よこはま花と緑の春フェア

地域環境保全活動(森林保全、清掃活動、植栽活動)

国が定める環境月間(毎年6月)にあわせて、これまでの社会や企業のあり方を見つめ直し、職場や地域においてどのようにしたら「エネルギーと環境の共生」社会に貢献できるかを考えて行動しています。

行事区分	実施内容および実施事業所数
講演会、訓示・訓話等	講演会の開催:8、訓示・訓話:11、勉強会:18、講演会聴講:11
表彰	環境表彰:2
環境パネル展	環境パネル展示:4、環境展:3
標語募集	標語応募:1
環境教育ビデオ上映	環境教育ビデオの上映:10
ポスター掲示、情報提供等	社長メッセージおよび環境月間ポスターの掲示:国内全機関、パンフレット配布:1、環境月間テーマ掲示:1
森林ボランティア、自然観察会	森林ボランティア:4、自然観察会:3、
環境美化運動	海浜清掃:のべ7、近隣地域清掃:のべ43、職場環境整備:のべ47、植樹・植栽、プランター設置、花苗配布:のべ16
リサイクル活動	リサイクル推進活動:10
地球温暖化防止活動	省エネ推進活動:10、アイドルングストップ運動:13、ノーカー運動:1
調査	環境測定:のべ8、環境パトロール:6
施設見学会	施設見学会:10
その他	禁煙タイム:4、環境啓蒙活動:4、施設開放イベント:1



環境月間にあたり、社長メッセージを全事業所に掲示し、社員の環境意識の向上を図りました。



J-POWER十津川電力所 / JPハイテック十津川事業所 (奈良県・和歌山県) 世界遺産「川の古道」清掃



J-POWER高知電力所 / JPハイテック早明浦出張所 (高知県) 森と湖に親しむ旬間



J-POWER南九州電力所 / JPハイテック南九州事業所 (熊本県) 高田辺地区老人会と花壇整備



J-POWER鬼首地熱発電所 / ジェイベック鬼首事業所 (宮城県) 森と湖に親しむ旬間



J-POWER橘湾火力発電所(徳島県) 荘川桜植樹

「こころ」にJパワーで、荘川桜。それは御母衣ダム建設の水没から守られた巨桜。樹齢450余年の今も、当時の心を伝える荘川町のシンボルです。Jパワーは、約100の学校等に向け苗木を植樹中。その荘川桜2世は子供の心にも花を咲かせます。エネルギーと環境の共生へ



朝日新聞 2005年11月13日掲載

社会との連携・協働

国内外におけるJ-POWERグループの事業ドメインが広がり、社会との接点が拡大するとともに、多様化するステークホルダーを意識した取り組みを進めていくことが必要となってきています。私たちが持続的に安定成長を遂げるためには、事業活動を通じてかかわる社会の諸問題に対して、「良き企業市民」として一定の役割と責任を果たすことが不可欠と考えます。

エネルギー・環境教育

J-POWERグループがめざす「エネルギーと環境の共生」社会を実現するためには、一人ひとりの意識の向上が必要です。私たちは社会全体の意識向上に結びつく活動として、従業員を含め、持続可能な発展の実現に向けて重要な役割を担う子どもたちに対し、エネルギーと環境にふれあう場を提供しています。

今後は社外と協働したプログラムを充実させていきたいと考えています。

体験型

組織	開催地	内容	参加人数
J-POWER磯子火力発電所	神奈川県	汐見台小学校チャレンジデー(電気教材工作)	小学生36名
J-POWER佐久間電力所 / JPハイテック佐久間事業所 / JPハイテック中部天竜事業所 / 開発電子技術佐久間営業所	静岡県	パソコン教室開催	のべ24名
J-POWER高砂火力発電所 / ジェイベック高砂カンパニー	兵庫県	トライやるウィーク	中学生5名 (受入)
J-POWER西日本送電管理所	岡山県	電気の教室	小学生37名
J-POWER竹原火力発電所 / J-POWERグループ	広島県	中高生インターンシップ	来客数4名 (受入)
J-POWER高知電力所	高知県	たけのご掘り	小学生22名
J-POWER橘湾火力発電所 / ジェイベック橘湾カンパニー	徳島県	さつま芋掘り	園児約40名
J-POWER若松総合事業所 / J-POWER若松研究所 / ジェイベック若松環境研究所	福岡県	屋上緑化学習(生物調査、ヒートアイランド、地球温暖化、食物育成・収穫など) 年8回実施	小学生 合計320名程度



J-POWER高知電力所



J-POWER西日本送電管理所



J-POWER橘湾火力発電所 / ジェイベック橘湾カンパニー

エネルギー！ 自然科学教室

組織	開催地	内容	参加人数
J-POWER上士幌電力所	北海道	上士幌町生涯学習ラリー	小学生40名
J-POWER大間原子力建設準備事務所	青森県	学校授業への協力(地層見学会等)	小中高生407名
		科学教室	小中学生71名
J-POWER磯子火力発電所 ジェイベック磯子カンパニー	神奈川県	環境パネル展	
J-POWER松浦火力発電所	長崎県	サイエンスパートナーシッププログラム (文部科学省推進活動)	中学生36名
若松J-POWERグループ	福岡県	子ども科学教室 「地域交流祭」内にて実施	



J-POWER大間原子力建設準備事務所



J-POWER松浦火力発電所

施設見学会

各地のJ-POWERグループの組織では、地域の幼稚園児、小学生から町内会、老人会等までのさまざまな世代の方々をお招きして、発電所をはじめとした設備の説明を行っています。2005年度には、全国で約550名が参加しました。



J-POWER高砂火力発電所/
ジェイベック高砂カンパニー(兵庫県)
J-POWER夏休み見学会



J-POWER静岡送電所
田原臨海風力発電所見学

ボランティア

ボランティア活動

J-POWERグループは、社会の一員としての社会的責任を果たすことがよりよい社会の実現に不可欠であると考えています。このため、ボランティア活動や地域行事への参加に対して特別休暇を付与し、活動を支援しています。

2005年度のボランティア休暇制度取得実績は13名、のべ日数は26日でした。

なお、今後の課題としては、ボランティア休暇が取得しやすい体制づくりやボランティア未経験者が参加しやすい環境づくりなどが挙げられます。

組織	実施地	内容	参加人数
J-POWER北本連系電力所 / J-POWER北地域制御所 / J-POWER北海道送電管理所 / J-POWER北海道情報通信所 / JPハイテック北本連系事業所 / JPハイテック函館事業所 / 開発電子技術函館営業所	北海道	国道5号線(峠下地区)清掃	20名
J-POWER上士幌電力所 / J-POWER上士幌送電所 / JPハイテック上士幌事業所 / JPハイテック十勝事業所 / 開発電子技術上士幌営業所	北海道	事務所周辺道路清掃	40名
J-POWER上士幌電力所	北海道	音更川河川清掃	3名
J-POWER大間幹線建設所	青森県	東通村植樹祭 / 大畑町植樹祭 / 釜臥山清掃登山	各7名
J-POWER奥清津電力所 / JPハイテック奥清津事業所	新潟県	湯沢地区雪おろしボランティア参加	9名
J-POWERフォレストクラブ	東京都	森林保全活動	40名
J-POWER橋本送電所	和歌山県	花植えボランティア	所員全員
J-POWER紀和電力所 / J-POWER橋本送電所 / J-POWER関西情報通信所 / JPハイテック紀和事業所 / JPハイテック関西事業所 / 開発電子技術橋本営業所	和歌山県	紀ノ川河川敷清掃	16名
J-POWER高砂火力発電所 / ジェイベック高砂カンパニー	兵庫県	限界倶楽部による劇講演	300名
若松J-POWERグループ	福岡県	竹林間伐活動(NPO主催)	5名
		海岸清掃(北九州クリーンキャンペーン) 2回実施	計100名
		コスモス育成	15名
		どんぐり育苗活動(北九州市「緑の回廊」計画)	50名



J-POWER橋本送電所



J-POWER大間幹線建設所



若松J-POWERグループ

ボランティア休暇制度を使い、 フィリピンの植林ツアーに参加しました

(株)JPビジネスサービス
ビジネスソリューション部
北山美穂子



2004年から2年続けて、地球環境保護のために労働組合と財団法人オイスカが協働して開催している海外植林ツアーへ参加しましたが、環境破壊の現状を目の当たりにし、「まず自分の身近にあることから取り組みたい」という思いを抱きました。



帰国後は、個人としてNGOのボランティア活動に参加し、社会貢献活

動について学びつつ、組織では、現在グループで進めている取り組みで、その経験を活かしています。

ボランティア休暇制度は、個人での取り組みだけでなく、会社が奨励することでより広く社会へ貢献することができる大変有意義な制度であると思います。今後は、制度を利用したひとりとして、より多くの従業員がこの制度を利用しやすくなるような道筋を作っていきたいと思います。

収集・募金

私たちは、外国コインやその他の物品、さらには災害復興支援という形でも、広くボランティア活動に参加しています。

種別	組織	実施地	内容
外国コイン	J-POWER国際事業部 / J-POWER経営企画部 / オフィスサポートセンター	-	ユニセフ海外コイン募金 (2005年実績)35カ国分・39,376円相当
その他物品	J-POWER鬼首地熱発電所 / ジェイベック鬼首事業所	宮城県	物品預託(古切手、ベルマーク、使用済みプリペイドカード)
	J-POWER高砂火力発電所	兵庫県	わくわく感謝DAY売上金を、高砂市福祉協議会「善意銀行」へ募金 物品預託(古切手、ベルマーク、使用済みテレホンカード)
	J-POWER竹原火力発電所 / J-POWERグループ	広島県	若竹作業所(精神障害者小規模作業所)へ募金
	J-POWER松浦火力発電所	長崎県	地元図書館へ不要図書を寄付
災害復興支援			【アメリカ】ハリケーン・カトリーナ被害に対する義援金100万円((社)日本経済団体連合会経由) 【インドネシア】ジャワ島中部地震被害に対する義援金100万円((社)日本経済団体連合会経由)

外国コイン

J-POWERグループ従業員の海外出張は年間1,000件を超えることから、海外出張帰任時の円転換不能なコイン・小額紙幣の寄付に協力してもらっています。

集金は募金箱で回収し、「ユニセフ海外コイン募金」として日本ユニセフ協会に寄付。世界の子どものための保健・栄養・衛生・教育の向上・支援に役立ててもらいます。



ユニセフに募金する中垣社長

海外とのかかわり

インド

西ベンガル州プルリア郡の少数民族(ドライブ)の生活支援を行っているNGO;VVKがつくった学校の電化に協力。また州立診療所に冷蔵庫と長イスを寄贈しました。



J-POWERプルリア揚水工事監理事務所
(インド・西ベンガル州プルリア郡)

誠実と誇りを原点とした企業活動

J-POWERグループは、国内のみならず世界各国で企業活動を展開するグローバルなエネルギー企業であり、株主、顧客、取引先、地域コミュニティなど、幅広いステークホルダーに支えられる存在です。したがって私たちは、これらの皆さまの信頼が得られるよう、誠実を旨とした企業運営を行っていきます。

このためJ-POWERグループは、経営情報や企業情報の公開、社外団体との対話、行政との適切な関係の確立等に積極的に取り組んでいます。

J-POWERグループは個人の権利利益の重要性を正しく理解するとともに、顧客および取引先等の個人情報保護を保護し、その信頼性を確保することを社会的責務として認識し、行動します。

人権尊重・差別禁止

人権研修

J-POWER「コンプライアンス行動指針」には、常に健全な職場環境を維持することに努め、各自の人権を尊重し、差別につながる行為は一切行わないことを遵守事項として挙げています。

2005年度 人権研修例

新任主事格研修、新任課長研修
竹原火力発電所(広島県)での、グループ従業員研修

プライバシーの尊重

J-POWERグループは、企業理念に基づきコンプライアンス活動の推進を図る企業として、個人情報保護に関する法律の規定を遵守するとともに、経営および全従業員が個人情報管理の重要性を認識し適正な取り扱いを行うよう個人情報の保護に関する基本方針ならびにウェブサイト上の個人情報の取り扱いについて定めています。

個人情報保護方針(基本方針)

J-POWERグループは、個人の権利利益の重要性を正しく理解するとともに顧客および取引先等の個人情報等を保護し、その信頼を確保することを社会的責務として認識し、次の行動に務めます。

保有する個人情報を漏洩、改ざん、紛失、不正利用および許可なく開示する等の行為は、社会からの信頼を失い、J-POWERグループの事業推進に甚大な影響を及ぼすこととなることから、役員およびすべての従業員は、個人情報管理の重要性と責任を認識し、誠実に行動します。

役員およびすべての従業員は、個人情報保護に関する法令および関係する社内規程を遵守し、保有する個人情報を適正に取り扱います。

コミュニケーション

J-POWERグループは、地域の一員として信頼され、親しまれ、地域とともに生きる存在になるため、環境保全をはじめとした取り組みを公表するとともに、広報活動を通じてさまざまな情報を発信しています。

環境報告書

1998年度より環境報告書を毎年発行していますが、2005年度からは『環境経営レポート』として発行しています。なお、J-POWERホームページ(<http://www.jpowers.co.jp>)でも公開しています。



新聞、雑誌、交通機関などにおける企業広告を通して、J-POWERの企業活動を紹介します。

新聞広告

2005年10月から2006年1月までの毎週日曜日の朝日新聞別刷『be on Sunday』では、環境問題コラムと連動させながら、事業紹介とともに、エネルギーと環境の共生をめざすJ-POWERの企業姿勢をPRしました。

なお、本誌のなかにもこの広告の一部を掲載しています(P.5~7、P.19、P.33、P.62参照)。



朝日新聞 2006年1月15日掲載

広報メディア

雑誌広告

2005年4月から2006年3月まで毎月1回、『週刊文春』ならびに『週刊新潮』に「J-POWERのパワー社員」と題した広告を掲載。毎回、従業員のひとりにスポットをあてながら、J-POWERの事業領域の広がり、とくに環境再生(商品・技術)を紹介しました。



テレビコマーシャル

エネルギーと環境の共生を図る事業活動をお伝えするコマーシャルを、TV番組「音のソリリティ～世界でたった一つの音～」(NTV)で提供し、放映しています。

提供番組「音のソリリティ」

NTV 土曜21:54～22:00

ソリリティとはフランス語の音楽用語で「鳴り響き」の意味。日本の自然風景から、その場でしか聞くことのできない音を紹介し、皆さまにやすらぎとパワーを提供するコンセプトの番組です。



ウェブ Web

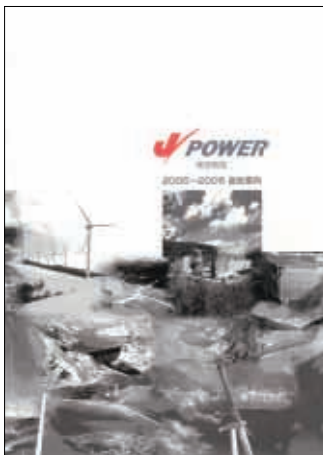
J-POWERのホームページ(<http://www.jpowers.co.jp>)には、電子メール、電話による「お問合せ」窓口を設置し、皆さまとの双方向のコミュニケーションに努めています。



ホームページ「お問合せ」画面

おもなパンフレット

『会社案内』『アニュアルレポート』を毎年発行し、社外の方々に配布・説明しています。また、一般の方にはなじみの薄い私たちの事業をわかりやすく編集した『おしえて!「Jパワー」って?』や、子ども向けのパンフレット『J-POWERは力もち』を発行し、発電所や各種イベント実施の際に配布しています。



会社案内



アニュアルレポート



おしえて!「Jパワー」って?



J-POWERは力もち

社外との コミュニケーション

社外向け刊行物



GLOBAL EDGE
発行：年4回 / 約6,000部
「エネルギーと環境の共生」をメインテーマに、各界のオピニオンリーダーの対談・寄稿記事を記載。J-POWERグループの技術・ビジネスを紹介する広報誌。

グループ内広報誌



J-POWER NEWS
発行：年4回程度 / 約9,500部
J-POWERグループの最新の事業動向を広く理解していただくための対外向け刊行物。事業活動・営業活動等の情報提供のツールとして幅広く活用。



J-POWERs
発行：各月15日 / 約12,000部
経営意思の伝達ならびにグループ経営動向に関する情報の共有化、グループ従業員間のコミュニケーション活性化などを目的としたグループ誌。

NPOとのコミュニケーション



2005年11月、民営化後のJ-POWERグループが取り組むべき社会貢献活動について、J-POWERの各機関とグループ各社の14名によるワーキング・グループが検討を行いました。

検討過程において、NPO「パートナーシップサポートセンター（PSC）」の協力によるワークショップで多くのアイデアや提言が出され、今後の活動の手掛りを得ました。

学生とのコミュニケーション

2005年9月、環境コミュニケーションの一環として、複数の大学学生スタッフから成る学生団体「REFORM」に対し、環境セミナーを開催しました。J-POWERグループの環境への取り組みの紹介や、意見交換を行ったなかで、「CO₂は本当に地球温暖化を引き起こすのか」「風力の景観、騒音の問題はどうか」「発電所建設後の環境影響は把握しているのか」などの質問があがり、予定時間を延長するほどの有意義なセミナーとなりました。話し合うことで相互の理解が深まることを改めて実感しました。今後の情報開示とコミュニケーション活動に役立てていく所存です。

